

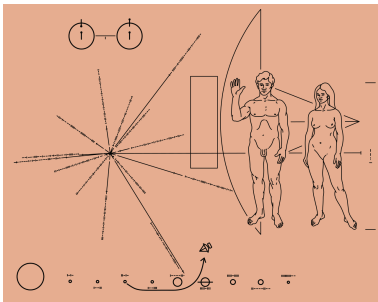
フミフレ通信



深まる秋、もし宇宙人から「手紙」が届いたら、どうしますか？

秋も一段と深まり、朝晩冷え込む日も増えてきました。そういえば、春も夏も冬も「深まる」とは言わないのに、秋だけなぜ「深まる」のでしょうか？ 不思議ですね。

さて、みなさんは手紙を書くのに日本語を使いますか？中には英語やフランス語、はてはスワヒリ語などで手紙を書いている方もいらっしゃるのかも知れません。ただ、そのどれを用いていたとしても、人間は「言葉」によってコミュニケーションをとっています。それでは言葉の通じない相手には、どうやって手紙を書いたら



いいのでしょうか？ 左の写真は、1972年に打ち上げられたアメリカの宇宙探査機「パイオニア10号」に

搭載された「宇宙人への手紙」です。

パイオニア10号は、木星・土星の探査後、太陽系外を目指すことが決まっており、「ひょっとしたら宇宙人と遭遇するかも？」ということで、人類からのメッセージを刻んだ金属板が搭載されました。宇宙人に地球人の「言葉」は理解できないでしょうから、その金属板には、言葉の代わりにシンプルな「絵」によって地球の位置や人類の姿が記されました。2013年に通信が途絶えたパイオニア10号ですが、今も遠い宇宙を旅していて、いつか、宇宙人がこの「手紙」を見て、返事をしてくれる日がくるかも知れませんね。

フミフレの会員様に「宇宙人」はいない(と思います)ので、手紙を全部「絵」にする必要はもちろんありませんが、文章にちょっとした絵を添えることで、気持ちの伝わる手紙になるものです。「芸術の秋」ですし...レツトライ!!

次回の会報は**10月30日(金)**に発送いたします。そのため、お手紙の回送受付は発送日前営業日の**10月29日(木)**までに事務局に届いたものとなります。事務局への到着日をご確認のうえ、お送りくださいますようお願いいたします。また、事務局へのご意見・ご要望などがありましたら、事務局宛にお便りをご同封ください。下記メールアドレスでも受け付けております。お気軽にご連絡ください。 customerservice@fumifure.jp

